

I. 国・県の全体的な方針

第10次福井県職業能力開発計画の概要

(計画期間：平成29年度～平成33年度)

1 国の方針

① ニッポン一億総活躍プラン・日本再興戦略 2016

- ・IoT、人工知能等、技術革新の進展に対応できる人材を育成
- ・若者、女性、高齢者、障害者など多様な人材の活躍を推進

② 働き方改革実現会議

- ・生産性向上に資する人材育成(IT人材)の強化
- ・女性、若者、高年齢者、障害者等の活躍推進

③ 第10次職業能力開発基本計画

- ・生産性向上に向けた人材育成の強化
- ・「全員参加型の社会の実現」に向けた職業能力の底上げ

2 県の方針

① 福井経済新戦略(改訂版)(平成27年4月)

- ・現場改善のインストラクターの育成・派遣による現場人材の強化
- ・学び直し等によるキャリアアップの支援
- ・伝統工芸職人塾による人材育成等

② ふくい創生・人口減少対策戦略(第3版)(平成29年3月)

- ・生産現場で業務改善を進める高度な人材を養成
- ・多様な人材の活躍を促進
- (若者や女性の仕事創出・シニア人材の活躍を支援)

(参考)

第9次福井県職業能力開発計画における課題

- ・若年者の離職率の改善や技能者の育成
- ・女性、高齢者、障害者等の更なる能力開発

II. 方向性

1. 若年者に対する適切な職業選択の支援、技能尊重機運の醸成、成長分野や技術革新(IoT等)への対応による「ふるさと産業」の発展を担う人材の育成
2. 人口減少社会に対応するため、女性・中高齢者・障害者を含め、全ての人が能力を開発し活躍する全員参加型社会の実現に向けた職業能力開発
3. 多様化・高度化する企業の訓練・研修ニーズに対応し、人材育成機関の機能を強化

III. 主な施策

I. 「ふるさと産業」の発展を担う人材の育成

1 地場産業の維持・発展

(1) 地場産業・伝統産業の人材育成

- 「福井ものづくりキャンパス」においてものづくり企業や職人、学生など幅広い層を対象としたものづくりに役立つ講座・教室を開催

(2) 若年者の確保・定着

- 大学1、2年生に対する職場定着に向けた早期インターンシップの拡大

(3) ものづくり技能の振興

- 熟練技能者の直接指導等による技能五輪など全国大会参加者の増加

2 成長分野(ロボット等)と技術革新(IoT等)への対応

(1) 成長分野に対応した人材育成

- 「航空・宇宙」「ライフサイエンス」「ロボットを中心とした、産業技術総合研究所との共同研究等を通じた企業内研究者の育成

(2) 技術・ビジネスモデル革新に対応した人材育成

- 生産工程を自動化したスマート工場の導入促進セミナーの開催によるIoT等の活用ができる人材の育成

- 介護、建設等人手不足分野におけるロボット導入を促進するための人材の育成

- 若手幹部候補等の海外大学等派遣による国際ビジネス力の強化

3 生産性の向上

(1) 労働生産性向上に向けた人材育成

- 「福井ものづくり改善インストラクタースクール」における生産現場を改善指導する人材の育成・派遣

(2) 宿泊業などサービス業の業務効率化ができる人材の育成

- 最新のIT技術の研修による人材の育成

(2) 労働者のキャリア形成

- 企業在職者のキャリアアップに必要な専門知識を身につけるための大学院での「学び直し」の実施

II. 全員参加型社会の実現に向けた職業能力開発

(1) 女性

- 育児等と両立しやすい短時間・託児付職業訓練コースの設定

- 生産管理等の知識・技能を備えた事務職訓練コースの開発

(2) 高年齢者

- シニア人材活躍支援センターとの連携によるIT機器や機械の操作技術知識の習得による現場復帰のための学び直し訓練の実施

(3) 若者(未就職者、フリーター等)

- 職業観の形成、社会人基礎力の向上を中心とした訓練の実施

(4) 障害者

- 障害者の特性に配慮した多様な職業訓練(座学型・企業実習型・eラーニング型)の実施

- 技能や知識を若者に伝承するための指導力向上短期研修の実施

III. 人材育成機関の機能強化

(1) 関係機関との連携

- 産業技術専門学院、中小企業産業大学校等の講師派遣や設備利用による研修体制の強化

(2) 産業技術専門学院の機能強化

- 技能者養成のため、ものづくり仕事体験を中高生に拡大

(3) 中小企業産業大学校の機能強化

- 大学院等での学び直しの拠点となる「学びなおしサポートセンター」の設置

- 県内企業の人材育成を計画策定から研修実施まで一貫して支援